

## あかしSDGs後期戦略計画の策定に向けた取組について

現在、あかしSDGs後期戦略計画について、あかしSDGs推進審議会や市議会からの意見に加え、市民意見募集を実施するなど、計画の策定を進めています。

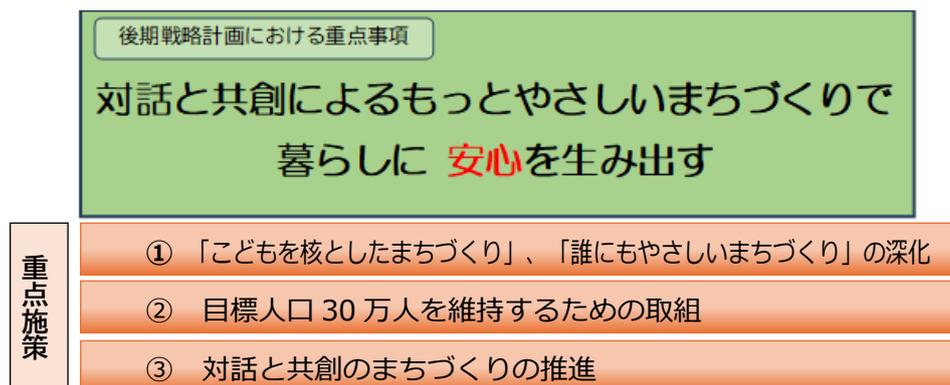
については、計画（案）と今後の予定について報告します。

### 1 あかしSDGs後期戦略計画（案）【資料1】

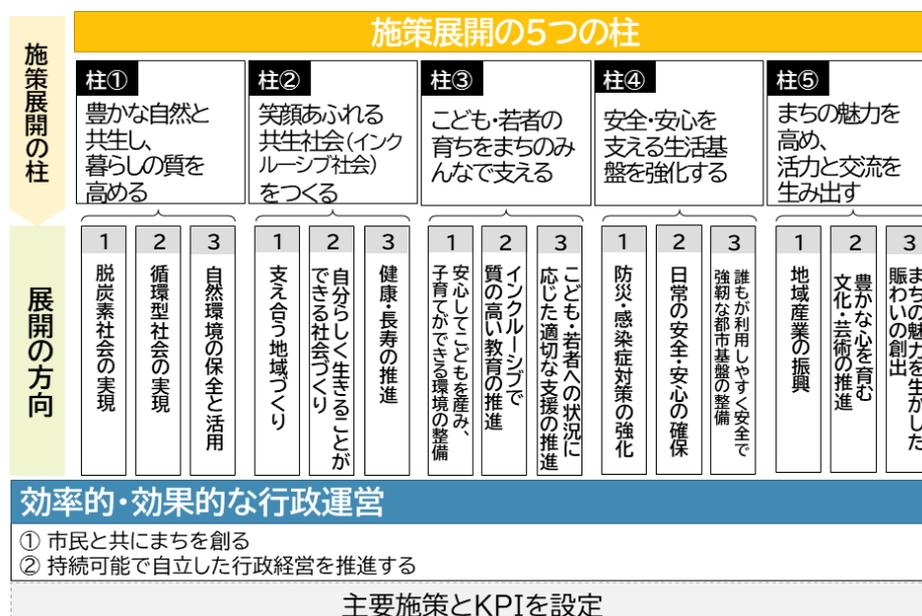
#### (1) 後期戦略計画における重点事項（まちづくり戦略）

後期戦略計画においては、市民一人ひとりに寄り添う施策をさらに展開し、もっとやさしいまちづくりを推進することで、すべての人が安心して暮らし続けられ、心豊かに幸せ（ウェルビーイング）を実感できる「SDGs未来安心都市・明石」の実現を目指していきます。

そのため、後期戦略計画におけるまちづくりの重点事項を以下のとおり定め、効果的にまちづくりを展開していきます。



#### (2) 施策展開の方針



(3) 重要業績評価指標 (KPI)

施策展開の柱	展開の方向	KPI	現状値	目標値
①豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める	1	温室効果ガス排出量 (2013年度比)	15.0%の減 (2021年)	48%の減 (2030年)
	2	ごみの排出量 (1人1日当たり)	828g/人・日 (2024年度)	813g/人・日 (2030年度)
	3	公園緑地総面積	2,244,200㎡ (2025年4月1日)	2,250,600㎡ (2030年4月1日)
②笑顔あふれる共生社会(インクルーシブ社会)をつくる	1	市と協働のまちづくり協定を締結した小学校区数	22校区 (2025年度)	28校区 (2030年度)
	2	オレンジサポーター養成者数	26,123人 (2024年度末現在)	40,000人 (2030年度末現在)
	3	平均寿命と健康寿命の差	男性:1.35年 女性:2.82年 (2023年度)	男性:1.35年より縮小 女性:3.04年より縮小 (2030年度)
③こどもの育ちをまちのみんなで支える	1	出生数	2,562人 (2024年)	3,000人 (2030年)
	2	授業がよくわかると答える児童生徒の割合	74.7% (2025年度)	90.0% (2030年度)
	3	「将来の夢や目標を持っている」と答える児童生徒の割合	小6:83.7% 中3:66.1% (2025年度)	小6:86.0%を超える 中3:74.0%を超える (2030年度)
④安全・安心を支える生活基盤を強化する	1	災害時要配慮者への個別避難計画数	339件 (2024年度)	1,500件 (2030年度)
	2	交通事故死傷者数	1,133人 (2024年)	800人 (2030年)
	3	バリアフリー対策済みの駅数	12駅 (2025年度)	14駅 (2030年度)
⑤まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す	1	市内総生産	2019年度比+4.6% (2022年度)	2019年度比+18.7% (2030年度)
	2	図書館等での本の貸出冊数	2,647,182冊 (2024年度)	320万冊 (2030年度)
	3	天文科学館入館者数	116,806人 (2024年度)	130,000人 (2030年度)
効率的・効果的な行政運営	1	あかし共創プラットフォームへの参加者数	19者 (2025年度)	100者 (2030年度)
	2	オンライン化した行政手続き数	388手続 (2025年度)	1,000手続 (2030年度)

## 2 第3回あかしSDGs推進審議会

あかしSDGs後期戦略計画（案）について、取りまとめを行うとともに、以下の意見をいただきました。

①開催日時	2025年11月30日（日）9時30分～12時
②場 所	市役所議会棟大会議室
③議 事	あかしSDGs後期戦略計画（案）について
④主な意見	<p><b>【後期戦略計画における重点事項（まちづくり戦略）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 審議会などの様々な意見を踏まえて、計画（案）が作成されており、素案に比べて非常に分かりやすく、理解しやすくなった。</li><li>・ 「人口を維持するための取組の推進」については、より一層、具体的な取組の検討と実施をお願いしたい。</li><li>・ 「対話と共創」という考え方が、自治基本条例におけるまちづくりの基本原則を基にした考え方であることがよく分かった。</li></ul> <p><b>【柱1—1「脱炭素社会の実現」に関するKPI】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 温室効果ガスの排出量は、実績値の把握に時間を要するものの客観的な指標であることからKPIとしてふさわしい。</li><li>・ 企業が温室効果ガス排出量の削減に取り組むことは当然であり、あえて優良事例の表彰者数を指標として設定する必要はないのではないか。</li></ul> <p><b>【柱3—3「こども・若者の状況に応じた適切な支援の推進」に関するKPI】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ こども食堂について重要な取組であると考えますが、KPIとしては、一事業を成果指標とするのではなく、施策全体を表す指標をKPIとして設定の方が望ましい。</li><li>・ こどもが夢や目標を持って成長できるまちとなることは、将来のこどもたちにとっても良いことであり、KPIとしてふさわしいと考える。</li></ul> <p><b>【柱3—2「インクルーシブで質の高い教育の推進」に関する項目名】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画（案）には、当初、「個々に応じたインクルーシブで質の高い教育の推進」としていたことにつき、インクルーシブという概念には、個別性を大切にするという概念が含まれているので、「個々に応じた」という表現は削除する。</li></ul> <p><b>【体系図】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 体系図は、シンプルな表現が良く、言葉の重複は避けるべきであることから、「後期戦略計画における重点事項」として、キャッチフレーズとなる部分は大きく表現し、3つの重点事項は体系図から省くべきである。</li></ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 脱炭素社会の実現に関して、2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロを目指すのであれば、きちんとロードマップを示し、計画的に取組を推進すること。</li><li>・ こどもの夢を応援する取組について、夢を持つことができないこどもへの配慮と一層の環境整備に取り組んでほしい。</li><li>・ 防災に関する記述は見受けられるが、「減災」という記述がなく、具体的な施策とともに減災対策にも取り組んでもらいたい。</li></ul>

### 3 市民意見募集

(1) 期 間

2025年10月1日（水）～10月31日（金）

(2) 対象者

市内在住・在勤の方、または市内で活動する団体の方

(3) 回答者

13名（30代:1名、40代:1名、50代:3名、60代:3名、70代以上:5名）

(4) 意見数

88件

(5) 内 容

資料2のとおり

### 4 今後の予定

	市民参画等	市議会
2025年11月	◆第3回審議会（11/30） ・後期戦略計画（案）	
2025年12月		□総務常任委員会（12/10） ・後期戦略計画（案）
2026年1月～ 2月	○パブリックコメント（第2弾）	
2026年3月	○後期戦略計画策定、公表	□総務常任委員会 ・後期戦略計画（最終案）